



令和9年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和8年8月6日

上場会社名 北野建設株式会社

上場取引所 東

コード番号 1866 URL <https://www.kitano.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 北野 貴裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営管理本部長 (氏名) 秋田 孝之 TEL 03-3562-2331

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 令和9年3月期第1四半期の連結業績（令和8年4月1日～令和8年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
9年3月期第1四半期	20,497	8.6	1,205	62.9	1,534	97.7	1,082	125.2
8年3月期第1四半期	18,880	15.4	739	64.1	776	1.9	480	△21.5

(注) 包括利益 9年3月期第1四半期 2,264百万円 (555.7%) 8年3月期第1四半期 345百万円 (△71.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
9年3月期第1四半期	44.50	—
8年3月期第1四半期	19.78	—

(注) 当社は、令和7年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
9年3月期第1四半期	86,002	53,682	61.8	2,183.66
8年3月期	80,330	52,150	64.2	2,120.60

(参考) 自己資本 9年3月期第1四半期 53,108百万円 8年3月期 51,574百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
8年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
9年3月期	—				
9年3月期（予想）		0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 令和9年3月期の連結業績予想（令和8年4月1日～令和9年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	86,000	9.1	5,000	7.7	5,300	5.9	3,500	0.3	143.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	9年3月期1Q	25,347,412株	8年3月期	25,347,412株
② 期末自己株式数	9年3月期1Q	1,026,736株	8年3月期	1,026,656株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	9年3月期1Q	24,320,676株	8年3月期1Q	24,295,478株

(注) 当社は、令和7年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P2「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
3. その他	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、緩やかに拡大しているものの、中東情勢の不安定化により、先行きは成長率が鈍化する見通しです。家計部門では春闘賃上げ率は高い伸びを維持しているものの、資源価格の高騰が物価にも波及することで実質賃金は前年比マイナスに落ち込むことが見込まれます。また、企業部門では資源価格の高騰による企業収益の下押しや供給制約による生産活動の下押しの可能性があるものの、効率化や省人化、DX化等の中長期的な課題解決に向けた設備投資は堅調に推移しています。世界経済におきましては、中東情勢の不安定化を背景とした資源価格の上昇による企業収益の悪化や個人消費の下振れ、サプライチェーンの混乱、先行き不透明感の高まりに伴う企業活動及び設備投資の抑制などによる下押しの可能性があり、日本経済への影響に十分注意する必要があります。

当社グループが主に事業を展開している建設業界におきましては、政府建設投資、民間建設投資共に底堅く推移していますが、労働者不足や労務費の上昇、原材料価格の高騰、為替変動、同業他社との受注競争の激化、地政学的リスクの高まり等、引き続き注視が必要な状況が続いています。また、連結子会社のホテル事業につきましては、同様の影響を受けつつも堅調に推移しています。

かかる状況下におきまして、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高204億97百万円（前年同期比8.6%増）、営業利益12億5百万円（前年同期比62.9%増）、経常利益15億34百万円（前年同期比97.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益10億82百万円（前年同期比125.2%増）となりました。

当社グループのセグメントの業績は次のとおりです。

(建設事業)

当第1四半期連結累計期間における建設事業の業績につきましては、売上高は前年同期比8.9%増の195億58百万円となり、セグメント利益は前年同期比69.6%増の10億60百万円となりました。

(ゴルフ場事業)

ゴルフ場事業の業績につきましては、売上高は前年同期比6.1%減の85百万円となり、セグメント利益は前年同期比57.9%減の7百万円となりました。

(ホテル事業)

ホテル事業の業績につきましては、売上高は前年同期比5.2%増の7億17百万円となり、セグメント利益は前年同期比39.9%増の1億35百万円となりました。

(広告代理店事業)

広告代理店事業の業績につきましては、売上高は前年同期比3.5%減の1億75百万円となり、セグメント損失は5百万円（前年同期は7百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ56億71百万円増加の860億2百万円となっています。主な変動要因としては、「現金及び預金」及び「投資有価証券」が増加したことによるものです。負債の部に関しては、「支払手形・工事未払金等」が減少した一方で、「未成工事受入金」が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ41億39百万円増加の323億19百万円となりました。純資産の部に関しては、主に「その他有価証券評価差額金」の増加により、前連結会計年度末に比べ15億32百万円増加の536億82百万円となりました。これらにより当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は61.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和8年5月12日に公表いたしました通期の業績予想について、現時点で変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和8年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和8年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,239	17,941
受取手形・完成工事未収入金等	20,704	19,248
販売用不動産	3,405	3,375
未成工事支出金	92	118
開発事業等支出金	4,406	4,436
その他の棚卸資産	188	183
その他	1,724	2,402
貸倒引当金	△12	△12
流動資産合計	43,748	47,694
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,193	17,328
土地	7,074	7,074
その他	10,190	10,426
減価償却累計額	△15,472	△15,746
有形固定資産合計	18,986	19,083
無形固定資産		
その他	741	728
無形固定資産合計	741	728
投資その他の資産		
投資有価証券	13,349	14,992
長期貸付金	48	51
退職給付に係る資産	1,473	1,479
繰延税金資産	16	18
その他	1,993	1,979
貸倒引当金	△27	△24
投資その他の資産合計	16,854	18,496
固定資産合計	36,581	38,307
資産合計	80,330	86,002

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和8年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和8年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	8,480	6,961
電子記録債務	4,466	4,546
未払法人税等	1,594	608
未成工事受入金	4,505	10,620
賞与引当金	748	1,297
その他の引当金	621	544
その他	2,766	2,373
流動負債合計	23,183	26,952
固定負債		
会員預託金	1,576	1,555
繰延税金負債	2,831	3,243
退職給付に係る負債	81	83
その他	506	485
固定負債合計	4,996	5,366
負債合計	28,180	32,319
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,116	9,116
資本剰余金	659	659
利益剰余金	34,280	34,633
自己株式	△873	△873
株主資本合計	43,182	43,535
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,918	8,044
繰延ヘッジ損益	4	0
為替換算調整勘定	1,115	1,184
退職給付に係る調整累計額	353	343
その他の包括利益累計額合計	8,391	9,572
非支配株主持分	576	574
純資産合計	52,150	53,682
負債純資産合計	80,330	86,002

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和8年4月1日 至 令和8年6月30日)
売上高		
完成工事高	17,831	19,366
兼業事業売上高	1,049	1,131
売上高合計	18,880	20,497
売上原価		
完成工事原価	15,904	16,932
兼業事業売上原価	653	698
売上原価合計	16,557	17,631
売上総利益		
完成工事総利益	1,927	2,433
兼業事業総利益	395	433
売上総利益合計	2,323	2,866
販売費及び一般管理費	1,583	1,661
営業利益	739	1,205
営業外収益		
受取利息	3	24
受取配当金	178	223
為替差益	—	77
会員権引取差額	1	11
その他	9	6
営業外収益合計	193	343
営業外費用		
支払利息	22	13
為替差損	129	—
その他	4	1
営業外費用合計	156	14
経常利益	776	1,534
特別損失		
固定資産処分損	6	0
特別損失合計	6	0
税金等調整前四半期純利益	770	1,534
法人税、住民税及び事業税	433	560
法人税等調整額	△142	△108
法人税等合計	290	452
四半期純利益	479	1,082
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	480	1,082

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和8年4月1日 至 令和8年6月30日)
四半期純利益	479	1,082
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	55	1,126
繰延ヘッジ損益	△0	△4
為替換算調整勘定	△190	69
退職給付に係る調整額	0	△10
その他の包括利益合計	△134	1,181
四半期包括利益	345	2,264
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	347	2,263
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設事業	ゴルフ場事業	ホテル事業	広告代理店 事業			
売上高							
一時点で移転される財 又はサービス	240	88	679	151	1,159	—	1,159
一定の期間にわたり移 転される財又はサービ ス	17,625	—	—	—	17,625	—	17,625
顧客との契約から生じ る収益	17,865	88	679	151	18,784	—	18,784
その他の収益	96	—	—	—	96	—	96
外部顧客への売上高	17,961	88	679	151	18,880	—	18,880
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	2	2	30	36	△36	—
計	17,961	90	682	182	18,917	△36	18,880
セグメント利益又は損失 (△)	625	16	96	△7	731	8	739

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額8百万円は、全てセグメント間取引消去です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

当第1四半期連結累計期間(自 令和8年4月1日 至 令和8年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設事業	ゴルフ場事業	ホテル事業	広告代理店 事業			
売上高							
一時点で移転される財 又はサービス	331	82	717	139	1,271	—	1,271
一定の期間にわたり移 転される財又はサービ ス	19,065	—	—	—	19,065	—	19,065
顧客との契約から生じ る収益	19,397	82	717	139	20,337	—	20,337
その他の収益	160	—	—	—	160	—	160
外部顧客への売上高	19,558	82	717	139	20,497	—	20,497
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	2	0	36	39	△39	—
計	19,558	85	717	175	20,537	△39	20,497
セグメント利益又は損失 (△)	1,060	7	135	△5	1,197	8	1,205

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額8百万円は、全てセグメント間取引消去です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費は次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和8年4月1日 至 令和8年6月30日)
減価償却費	207百万円	197百万円

3. その他

生産、受注及び販売の状況

提出会社単独の事業の状況は、以下のとおりです。

①建設事業部門

◆受注工事高、完成工事高、繰越工事高

(単位：百万円)

期別	区分	期首繰越工事高	期中受注工事高	計	期中完成工事高	期末繰越工事高
前第1四半期累計期間 自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日	建築工事	86,341	13,533	99,874	16,110	83,764
	土木工事	6,224	3,577	9,802	1,721	8,081
	計	92,566	17,111	109,677	17,831	91,845
当第1四半期累計期間 自 令和8年4月1日 至 令和8年6月30日	建築工事	64,818	33,501	98,320	18,195	80,125
	土木工事	5,173	7,138	12,312	1,171	11,141
	計	69,992	40,640	110,632	19,366	91,266

(注) 1. 前事業年度以前に受注した工事で契約の変更により請負金額の増減がある場合、期中受注工事高にその増減額を含めています。したがって、期中完成工事高にもかかる増減額が含まれます。

2. 期末繰越工事高は(期首繰越工事高+期中受注工事高-期中完成工事高)に一致します。

◆受注工事高

工事の受注方法は、特命と競争に大別されます。

期別	区分	特命 (%)	競争 (%)	合計 (%)
前第1四半期累計期間 自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日	建築工事	42.4	57.6	100.0
	土木工事	5.7	94.3	100.0
	計	34.7	65.3	100.0
当第1四半期累計期間 自 令和8年4月1日 至 令和8年6月30日	建築工事	74.4	25.6	100.0
	土木工事	84.7	15.3	100.0
	計	76.2	23.8	100.0

(注) 百分比は請負金額比です。

◆完成工事高

(単位：百万円)

期別	区分	官公庁	民間	合計
前第1四半期累計期間 自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日	建築工事	742	15,367	16,110
	土木工事	1,316	405	1,721
	計	2,058	15,772	17,831
当第1四半期累計期間 自 令和8年4月1日 至 令和8年6月30日	建築工事	1,709	16,485	18,195
	土木工事	978	192	1,171
	計	2,688	16,677	19,366

◆繰越工事高 (令和8年6月30日現在)

(単位：百万円)

区分	官公庁	民間	合計
建築工事	10,150	69,974	80,125
土木工事	4,862	6,278	11,141
計	15,013	76,253	91,266